

会議名	第23回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
開催日時	令和5年5月17日(水) 午後2時00分～午後4時00分
会場	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 402会議室
出席委員	<p>【委員】中村 美香(特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部コーディネーター) ※会長 西垣 勝(新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長) 高松 智子(ユニバーサルカラープランナー協会 会長) 高橋 邦夫(特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長) 小沢 謙一(新潟商工会議所 理事・事業部長) 田中 雅史(新潟市中央区自治協議会 委員) 内田 剛二(国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長) 佐久間 なおみ(新潟市中央区 区長)</p> <p>【事業主体】株式会社 スノーピーク</p> <p>【事務局】市まちづくり推進課、国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所</p>
主な議事内容	<p>(1) 現時点の実施状況について</p> <p>(2) ミズベリング信濃川やすらぎ堤左岸利活用について 事務局(まちづくり推進課)及びスノーピークから説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食出店は6月17日(土)から9月24日(日) ・その他のイベントに関しては日程確定次第、協議会へ報告する <p><委員からの主な質問・意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺体験キャンプの参加者はどういった属性か → 市外、県外、市中央区在住者など様々、SNS や店舗での案内で利用を 申込むケースが多い ・出店者が昨年同様ということで定着してきたということか → 例年募集しているが、今回は新規の出店がなかった (昨年は新規出店あり) <p>出店における費用面でのハードルを考慮し、小規模な出店も可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食出店以外のイベントに関して全体のスケジュールを示した方がよい ・左岸の活用については右岸との違い等にも触れて広報等をしていくとよい ・「賑わい」の考え方は様々あるが、左岸はいろいろな活動で市民が憩える 空間となることを期待している

(3) アンケート調査について

事務局（まちづくり推進課）から説明がありました。

- ・事業の総括を行う上で主な観点を【賑わい創出】【魅力と価値の向上】【取組の持続可能性】と設定し、アンケート調査等によりそれぞれの観点の把握に必要なデータ収集を行う

<委員からの主な質問・意見>

- ・全体満足度は回答者によって視点が異なるのでは（マネジメントに対して、飲食の種類に対して、取組全般についてなど）。例えば項目を細分化するなどして、それらを把握できるようにしたほうがよいのでは。自由記載欄で満足度の理由や改善点、課題などを聞き取るようにしてはどうか
- ・全体を通してミズベリングを知っている前提での調査であるとの印象を受けた。アンケート内でミズベリングについての説明があるとよいのでは
- ・設問の量が多いため、項目の整理が必要
- ・収集方法について電子コードの活用等回答しやすくなる工夫できるとよい
- ・自治協議会など、地域住民にアンケートの実施などを検討してほしい

(4) 今後のスケジュール

事務局（まちづくり推進課）から説明がありました。



ミズベリング信濃川やすらぎ堤



ミズベリングとは

市民や企業、行政が一体となって水辺の新しい可能性を創造していく
全国的なプロジェクトのこと

※ミズベリング (MIZUBERING) : 水辺に新たな意味をかけた造語
「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」



2016(平成28)年度からやすらぎ堤を活用し、
飲食店やイベントで新潟市のにぎわいづくりを進めています。

【ミズベリング信濃川やすらぎ堤】

●事業区域



都市・地域再生等利用区域の指定 (H28.2)

区域内で民間事業者の利活用(営利含む)が可能

●実施体制

民間事業者が指定区域の利活用(営利含む)を行う場合、新潟市と**施設使用契約**を締結する必要があります。

